

[6201/5C-123-002]

Ver.17

5.免疫学的検査 &gt;&gt; 5C.血漿蛋白&gt;&gt;5C123 I型コラーゲン架橋-N末端テロペプチド(NTx) [随時尿]

## I型コラーゲン架橋-N末端テロペプチド(NTx)

[随時尿]

type 1 collagen cross-linked N-terminal telopeptide

連絡先 3764

患者同意について

検査結果に影響を与える臨床情報

オーダーボタン名(検体)

6201

001

NTx[随時尿]

検査予約

至急オーダー

不可

検査オーダーに関する注意事項

患者の検査前準備

検体採取のタイミング

ラベル見本(検体)(単項目オーダー時)

キョウダ イテスト

注 80 外



Uせけ2.



随時尿

中検外2

\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_-90256

U

6ml

\*\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*

ラベル見本(細菌)(単項目オーダー時)

採取容器・検査材料

[6201/5C-123-002]

Ver.17

5.免疫学的検査 &gt;&gt; 5C.血漿蛋白&gt;&gt;5C123 I型コラーゲン架橋-N末端テロペプチド(NTx) [随時尿]

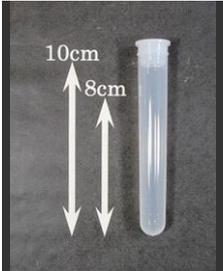
## I型コラーゲン架橋-N末端テロペプチド(NTx)

[随時尿]

type 1 collagen cross-linked N-terminal telopeptide

連絡先 3764

01	U	丸底プレイン(白)		
	採取材料	尿	採取量	6 mL
	測定材料		測定必要量	1.5 mL



## 採取容器について

## 検体採取について

午前中の第二尿を採取

## 採取後検体の取扱い

## 検体搬送について

## 採取検体の保存条件

	保存検体種	優先 保存条件	保存条件1		保存条件2		保存条件3	
			温度	安定性	温度	安定性	温度	安定性
01	尿	保存条件1	冷蔵	14日				

## 受入不可基準

溶血	検体凝固	強乳び	採取量過不足	採取容器違い
尿材料違い	冷蔵保存なし	遮光保存なし	開栓	黄疸

## 検査に要する時間(生理検査)

## 再検査・追加検査の対応可能日数

検体到着日から60日間(検体量ある場合のみ) &lt;br /&gt;

(分析物の安定性については「採取検体の保存条件」を参照)

## 検体採取に関する注意事項・検査の実施に関する注意事項

[6201/5C-123-002]

Ver.17

5.免疫学的検査 &gt;&gt; 5C.血漿蛋白&gt;&gt;5C123 I型コラーゲン架橋-N末端テロペプチド(NTx) [随時尿]

## I型コラーゲン架橋-N末端テロペプチド(NTx)

[随時尿]

type 1 collagen cross-linked N-terminal telopeptide

連絡先 3764

検査機器	&nbsp;
検査所要日数	3~4日
検査部門・委託先	外部委託 (LSIメディエンス)
検査部門(平日時間内)	
検査部門(時間外・休日)	
検査結果報告について	
基準値設定材料・検査方法	
基準値設定材料	随時尿
検査方法	化学発光酵素免疫測定法 (CLEIA)

## 生物学的基準範囲

		男性	女性	単位
00	クレアチニン補正值	13.0 - 66.2		nmolBCE/mm
00	クレアチニン補正值 閉経前		9.3 - 54.3	nmolBCE/mm
00	クレアチニン補正值 閉経後		14.3 - 89.0	nmolBCE/mm
00	NTx濃度	***	***	nmol BCE/L
00	クレアチニン濃度	***	***	mg/dL

## 基準値情報

基準値は参考値

緊急異常値

電話連絡対応

## 臨床的意義

&nbsp;&nbsp;&nbsp;NTxはヒトの骨に対する特異性が高く、閉経女性のエストロゲン分泌の低下やペ-ジェット病等の骨吸収の亢進により高値を示すことより、骨の吸収を直接に反映する指標になる。測定に使用するキット試薬、オステオマ-クは、NTxに特異性の高いモノクロ-ナル抗体を使用しており、I型以外のコラーゲン代謝物は認識しない。また、骨以外の組織由来のコラーゲン代謝の影響は少なく、骨吸収に対する特異性が優れている。次に示す疾患において临床上の有用性が確かめられている。1) 原発性副甲状腺機能亢進症における骨吸収の

[6201/5C-123-002]

Ver.17

5.免疫学的検査 &gt;&gt; 5C.血漿蛋白&gt;&gt;5C123 I型コラーゲン架橋-N末端テロペプチド(NTx) [随時尿]

## I型コラーゲン架橋-N末端テロペプチド(NTx)

[随時尿]

type 1 collagen cross-linked N-terminal telopeptide

連絡先 3764

指標, 2) 原発性副甲状腺機能亢進症の治療(手術)効果の判定, 3) 悪性腫瘍の骨転移の指標および骨転移病巣の進行度の指標, 4) 骨粗鬆症の薬剤治療方針の選択の指標及び薬剤効果判定の指標

異常値を示す病態・疾患

骨粗鬆症

参考文献

Hanson, Dennis A. *et al*. A specific immunoassay for monitoring human bone resorption

馬場正博. 【骨代謝マーカーと骨粗鬆症治療薬の現状と将来】骨吸収マーカーNTxの基礎と骨粗鬆症にお

エスアールエル 検査要項

JLAC10

分析物	5C123	I型コラーゲン架橋-N末端テロペプチド(NTx)
識別	0000	
材料	001	尿(含むその他)
測定法	000	

変更履歴

Ver	文書更新日	変更適用日	内容
1	2008/04/01	2008/04/01～	制定
2	2015/04/24	2015/04/01～	外部委託先変更(SRL⇒LSIM), 報告日数・検査方法変更
3	2016/04/25	2016/04/01～	平成28年度診療報酬改定
4	2018/04/06	2018/04/01～	平成30年度診療報酬改定
5	2019/04/30	2019/04/01～	外注区分変更([外注1]⇒[外注2])
6	2019/07/08	2019/05/15～	採取容器変更([ネ]⇒[U])
7	2019/11/14	2019/11/14～	JLAC10分析物名称を変更
8	2019/12/16	2019/12/16～	JLAC10更新に伴う検査項目名称変更

[6201/5C-123-002]

Ver.17

5.免疫学的検査 &gt;&gt; 5C.血漿蛋白&gt;&gt;5C123 I型コラーゲン架橋-N末端テロペプチド(NTx) [随時尿]

## I型コラーゲン架橋-N末端テロペプチド(NTx)

[随時尿]

type 1 collagen cross-linked N-terminal telopeptide

連絡先 3764

9	2020/04/02	2020/04/01～	令和2年度診療報酬改定
10	2021/05/07	2021/04/01～	検査方法・報告成分変更
11	2021/07/02	2021/07/02～	検体保存条件を変更
12	2022/03/09	2021/12/09～	採取名称部分に検体搬送先を印字
13	2022/08/01	2022/04/01～	令和4年度診療報酬改定
14	2022/12/01	2022/12/01～	受入不可基準などについて全面改訂
15	2023/09/12	2023/04/01～	保存安定性期間の見直し
16	2023/12/21	2023/12/21～	必要検体量を追記
17	2024/06/04	2024/06/01～	令和6年度診療報酬改定